

ジョンブリアン^{の23}

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



母の兄姉に錚々たる重賞ウイナー、父の無限の可能性が開花する

現時点における馬体の特徴と適性

祖母はG2伊1000ギニー馬シェンク。母はその娘として3歳2月のデビュー戦から5歳夏のラストランまで計18走し、芝1200m、芝1400m戦で、二つの勝ち鞍をマークしました。半兄にJPN2デイリー杯2歳S、G3関屋記念に勝ったマルカシェンク、G3中京記念馬ガリバルディ、半姉にG3京成杯オートムHを制したザレマがいる名門ファミリー。当然、母も大きな期待を担って繁殖生活を開始しています。本馬は、米G1アーカンソーダービー制覇を含め4戦全勝の成績を残した“未完の大家”で、2024年から初年度産駒がデビューしてくる新進鋭種牡馬ナダルを父に迎えて誕生した母の2番仔です。弾力に富むしなりが特徴となる首差し、深みがあり柔軟な筋肉に覆われた胸前、形状の良いトモ、伸びがある胴、脚向きが綺麗な前肢といったセールスポイントを誇る馬体は、切れ味鋭い末脚を生み出す強力なエンジンとなってくるはず。まだまだ成長の余地が大きいだけに、じっくりと育成過程のステップを踏み、2歳秋にデビュー戦を迎えられることがベストと見ます。距離、コース適性は、芝マイル戦が最有力となるタイプ。タイトル獲得が十分に望める豊かな資質と勝負強さを有しています。

小林真也調教師コメント

ナダル産駒は筋肉質で馬っぷりがいい印象。本馬も肉付きが良く、牝馬ながら立派な馬体には好感が持てます。牝系は一本筋が通っていて、マイル重賞に強く、瞬発力が豊富なイメージが湧きます。本馬の動きを見ると「いかにも短距離」ではなく、父ナダルが9ハロンのG1を勝っているように、距離の融通が利くタイプだと思います。血統背景や距離適性から、まずは桜花賞を目指していきます。厩舎は開業4年目を迎え、当面の目標はG1制覇。そして常にG1レースに出走馬を送り込み、勝負できる厩舎にしたいと思っています。同時に一頭でも多くの馬を勝ち上げさせ、長く現役を続けてもらうのが理想です。昨今は在厩期間を短くして厩舎を回転させる形が主流ですが、馬に応じて、できるだけ長く手元に置き、その一頭としっかり向き合い丁寧に仕上げることを心がけています。

	アーチ	Kris S.
ブレ임	Arch	Aurora
Blame		
鹿 2006	ライアブル	Seeking the Gold
*ナダル	Liabile	Bound
Nadal		
鹿 2017	ブルビット	A.P.Indy
アセンディングエンジェル	Pulpit	Preach
Ascending Angel		
粟 2011	ソーラーコロニー	Pleasant Colony
	Solar Colony	Meteor Stage
メス		
黒鹿毛		
2023.2.14生		
	*サンデーサイレンス	Halo
ステイゴールド	Sunday Silence	Wishing Well
Stay Gold		
黒鹿 1994	ゴールデンサッシュ	*ディクタス
ジョンブリアン	Golden Sash	ダイナサッシュ
Jaune Brillant		
黒鹿 2013	ザフォニック	Gone West
	Zafonic	Zaizafon
*シェンク		
Shenck		
鹿 1996	バックウィッグ	Buckfinder
	Buckwig	Dickie Ludwig

Mr. Prospector: S5×S5×M5



管理予定調教師

小林真也調教師(栗東)

◆1981年2月17日生 ◆2021年開業(4年目) ◆JRA通算43勝 ◆JRA重賞1勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- ゼノヴァース:東京ハイジャンプ(J-G2)、中山大障害(J-G1)2着 ●サンライズアムール:藤森S、すばるS(L)3着
- シャイニーブランコ:ジャン્યアリース2着 ●ヘルモーズ:野路菊S3着 ●トゥルーヴィル:フィリピンT、大原S3着
- タウゼントシェーン:桑名特別、山城S3着 ●ミステリーウェイ:札幌日刊スポーツ杯 ●タガノエスコート:2勝クラス、夏至S2着
- ケイアイサンデラ:2勝クラス ●サイモンザナドゥ:2勝クラス



ファミリー(母系)

母の父 ステイゴールドは白老産、中央・UAE・香港7勝、香港ヴァーズ-G1。主な産駒:オルフェーヴル(年度代表馬、三冠)、ゴールドシップ(皐月賞-G1)。【BMS:主な産駒】アランバローズ(全日本2歳優駿-JPN1)、ライオンボス(アイビスサマーダッシュ-G3)、クリスマス(函館2歳S-G3)、ブルーサン(雲取賞-Jpn3)、キャプテンシー(ジュニアC-L)、ショウナンマクマ(ディセンバーS-L)

母 ジョンブリアン(13ステイゴールド)2勝。産駒シトリンクォーツ(21牝鹿*ハービンジャー)1戦、^⑩
祖母 ***シェンク** Shenck(96 Zafonic)英国産、伊3勝、伊1000ギニー-G2、Premio Seregno-L、Premio Alessandro Perrone-L2着、Premio Vittorio Crespi-L3着、仏入着、仏1000ギニー-G14着。産駒

マルカシェンク(牡*サンデーサイレンス)5勝、デイリー杯2歳S-JPN2、関屋記念-G3、ニューイヤース-L、京都2歳S-L、富士S-G32着、京都金杯-G32着、同4着、鳴尾記念-JPN32着、小倉大賞典-JPN32着、ダービー-JPN14着、毎日王冠-G24着、中山記念-G24着、京都新聞杯-JPN25着、武蔵野S-G35着。種牡馬

ザレマ(牝ダンスインザダーク)4勝、京成杯オートムH-G3、ターコイズS-L、同2着、忘れな草賞-OP、阪神牝馬S-G22着、京都牝馬S-G32着、同3着(2回)、クイーンS-G32着、福島牝馬S-G33着、ヴィクトリアマイル-G14着、中山牝馬S-G34着。産駒

バレットティ(騎キングカメハメハ)6勝、師走S-L、同2着、秋嶺S、オアシスS-L2着、アハルテケS-OP2着

フルメタルボディー(騎*マインドユアビスケッツ)2勝、ジュニアC-L3着、^⑩

ミッキーオリビエ(牡キングカメハメハ)4勝、長岡京S、野分特別、オルトラティウム(牡エビファネイア)1勝、^⑩

ガリバルディ(牡ディーブインパクト)6勝、中京記念-G3、逆瀬川S、春日特別、京成杯オートムH-G32着、京都新聞杯-G23着、大阪城S-L3着、マイラーズC-G24着、富士S-G35着

フォーノーワン(牝*サンデーサイレンス)4戦。産駒

ノーワンエルス(牡*スウェプトオーヴァーボード)2勝、カンナS-OP
曾祖母 **バックウィッグ** Buckwig(84 Buckfinder)伊10勝、ブオンタレント賞-G3、バグダット賞-G3、同2着、Premio Allevamento-L

配合診断

マイル向きのスピードに絶対的な自信と実績、パワーに満ちた配合が導く女王の座

母ジョンブリアンは2勝馬ですが、マルカシェンク(デイリー杯2歳S)、ザレマ(京成杯オートムH)、ガリバルディ(中京記念)を兄姉に持つ良血。繁殖牝馬として期待できるでしょう。2代母シェンクは伊1000ギニー(G2・芝1600m)の勝ち馬。その父ザフォニック(英2000ギニー)のマイル向きのスピードをよく伝えるファミリーです。父ナダルは現役時代、デビューから4連勝でアーカンソーダービー(米G1・ダ9F)を制覇したものの、骨折により引退しました。父は名血Blame、母の父は日本向きのPulpit、牝系はInto Mischiefと同じ名門という魅力的な血統で、迫力十分の雄大な馬格も注目を集めています。本馬は父だけでなく、3代母Buckwigが「Busanda≒Mr.Busher 3×4」というパワフルな3/4同血クロスを持つので、ダート向きの中距離タイプでしょう。